

米田覚士 指揮

1996年岡山市生まれ。幼少よりピアノを始め、桃太郎少年合唱団、岡山市ジュニアオーケストラに所属し打楽器を担当。2016年東京藝術大学音楽学部指揮科に入学、2020年3月同大学を卒業。平成30年度安宅賞受賞。指揮法を小田野宏之、高関健、ピアノを長瀬智弘の各氏に師事。2017年6月に東京音楽大学特別講座指揮公開マスタークラスのオーディションに選出され、パーヴォ・ヤルヴィ氏のレッスンを受講。同年8月に熊本県立劇場にて山田和樹氏による公開講座を受講。2017年東アジア教育フォーラム特別演奏会 Voice of Okayamaにて岡山大学交響楽団、早稲田大学グリークラブ、岡山県内大学合唱団と、混声合唱オーケストラのためのカンタータ「土の歌」を指揮。2020年渋谷区文化総合センター大和田開館10周年記念演奏会にて大和田祝祭管弦楽団と「ラブソディ・イン・ブルー」を演奏した。2021年フジテレビ主催、ノイタミナ presents シネマティック・オーケストラコンサートにて東京21世紀管弦楽団へ客演した。2021年10月に行われた、第19回東京国際音楽コンクール入賞(日本人最高位)、あわせて奨励賞を受賞。



大澤明子
(フルート)

広島県出身。
国立音楽大学卒業、卒業時に武岡賞を受賞。同大学大学院修士課程修了、修了時に最優秀賞を受賞し新人演奏会に出演。第80回 読売新人演奏会出演。第37回 フルートデビューリサイタル出演。第16回 びわ湖国際フルートコンクール第3位。第2回 アジアフルートコンクール第6位。第5回 仙台フルートコンクール第3位。第30回 かながわ音楽コンクール特選。P.マイゼン、M.モラグスのマスタークラスを受講。浜松国際管楽器アカデミーにてA.アドリアンのマスタークラスを修了し、プレミアムコンサートに選出される。これまでにフルートを大友太郎、佐久間由美子、菅井春恵、和崎聖子の各氏に師事。『Flute Ensemble Ring』主宰。現在、コンサートの企画・主催やイベントやパーティー演奏、国内外のプロオーケストラの客演等幅広く活動している。また、YouTubeをはじめSNSでの発信、ライブ配信も積極的に行っている。



邊見美帆子
(ハープ)

栃木県足利市出身。
東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。第13回、第14回、第15回大阪国際音楽コンクール第3位。芸大フィルハーモニー、東京交響楽団などプロオーケストラにもエキストラとして参加。椎名林檎、河村隆一、サラブライトマンなど数々の有名アーティストのサポートや、PV、レコーディングに参加。2007年、表参道ヒルズにてソロコンサートを行う。2013年日光田母沢御用邸音楽祭に出演。2014年日本国際賞のレセプションにおいて、御前演奏を行う。マタニティ、キッズ向けの企画にも積極的に取り組む。出身地栃木においては、小学校の音楽室における出前コンサートや、赤十字病院緩和ケア病棟での演奏など活動の幅を広げている。銀座十字屋ハープ&フルートサロン講師。



木村ゆめこ
(クラリネット)

東京音楽大学器楽(クラリネット)専攻卒業。
クラシックを金井清氏、故内山洋氏、ジャズを谷口英治氏に師事。マスタークラスにてクルトシュミット氏、パトリックメッシーナ氏、ニコラ・バルディール氏のレッスンを受講。国際芸術連盟新人オーディション優秀新人賞、審査員特別賞授賞、推薦コンサート出演。海外音楽大学マスタークラスのオーディションに合格、ウィーン国立音楽大学ウィーンナムジークセミナーにてディプロマを取得。2022年紀尾井ホールにてソリストでオーケストラと共演。現在、クラシックコンサートを軸に、パーティー演奏、イベント出演、ライブサポートの他、よこざわけい子声優・ナレータースクールで学んだ経験を活かし、司会や演奏と朗読、歌による絵本コンサートを展開している。東京田端クラリネット教室アンダンティーノ主宰。